

人間関係信頼残高を増やすには

～ 新しい生活様式の中で変わること、変わらないこと ～

校長 本間 智英

11月6日の学習発表会では、各学年がこれまでの学習の成果を発表しました。毎日の生活の中では見落としてしまいそうな小さな成長が、学校行事などをおして見ると実は大きな成長だったんだなあ、と感じました。

おうちの方のご感想はいかがでしたでしょうか。

写 真

11月6日(土)学習発表会
1年生「寿限無」から

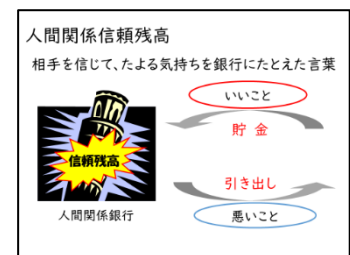
さて、宿題を出さなかった子どもが二人いました。

担任は、Aさんには「明日、持ってきなさい」と言い、

Bさんには「休み時間にやって出しなさい」と言いました。この違いは何でしょうか。

これは、ある授業の一場面です。子どもたちは、「ひいきだ、ひいきだ」と大騒ぎです。

数年前、このような授業をしました。これは、人間関係信頼残高という授業です。人間関係信頼残高とは、人間関係における信頼のレベルを「銀行口座」で表す比喻表現のことです。相手に対していいことをすれば預け入れになり、相手に対して悪いことをすれば引き出しになります。預け入れ、引き出しをして残った信頼の土台を人間関係信頼残高といいます。



つまり、AさんとBさんとの対応の違いは、日ごろの二人の宿題への取り組み方の違いが一つの要因でした、というような感じで授業を進めていきます。

銀行口座と人間口座の違い

	銀行口座	人間口座
口座数	限られている	出会う人すべて
解約	いつでもできる	永久にできない
貯金	引き出さなければなくなる	何もしないとなくなる

そして、銀行口座と人間口座の違いを考えてもらいました。

銀行口座は、口座数は自分が作ったものだけですが、人間口座は出会う人すべてに口座が開かれます。無数にあります。また、銀行口座は引き出さなければ預金はそのままですが、人間口座は何もしないと預金がなくなることがあります。

最後に、「人間関係信頼残高を増やすためにはどうしたらいいでしょうか」と問い、考えてもらいました。当時の子どもたちはどんなことを考えたのでしょうか。

書籍*には、「1 小さな親切をする 2 約束し、それを守る 3 その場にいらない人に誠実になる 4 許す 5 人の話に耳を傾ける 6 見通しをはっきりさせる 7 謝る」と書かれています。

新型コロナウイルス感染症により「つながり」が希薄になったこの頃、人間関係信頼残高を増やす方法も変わること、変わらないことがあります。私もアップデートしなければ…。

*参考文献 渡邊尚久(2004)『7つの習慣 小学校実践記』キングベアー出版